

平成30年度 交通サービス利便向上促進事業

(函館市L R T整備計画・平成30年度実施計画)

函館市企業局

1. 輸送および経営計画（平成30年度）

一日平均走行キロ（km）	2, 7 7 0
一日平均乗客数（人）	1 4, 2 6 3
車両数（両）	3 2

単位：百万円(税込)

		当初計画	当年度予算	備 考
収益的 収 支	経常収入	1, 529	1, 501	
	乗車料金収入	1, 000	1, 000	
	一般会計繰入金	343	334	
	長期前受金戻入	119	118	
	その他収入	67	49	
	経常費用	1, 551	1, 538	
	人件費	627	638	
	退職給付費	34	35	
	物件費	514	493	
	支払利息	13	11	
その他	364	361		
損益	△ 22	△ 37		
資本的 収 支	資本的収入	377	330	
	企業債	300	248	
	国庫補助金	42	47	
	一般会計繰入金	32	35	
	その他	3	0	
	資本的支出	530	483	
	建設改良費	378	331	
	企業債償還金	152	152	
	その他	0	0	
	資本収支差	△153	△153	
累積資金過(△)不足額	345	361		

2. 事業の実施計画

平成30年度 交通サービス利便向上促進事業					
事業名	数量	事業費		完成年月日	概要
制振軌道の整備 (深堀町～駒場車庫前間)	300m	予算額 単位：千円(税込)		平成31年 1月31日 (予定)	<ul style="list-style-type: none"> ・当該区間は昭和61年度および62年度に、たわみ構造から剛質構造へ改良し、既に31年程度経過しており、レールや舗装等の経年劣化による軌道狂いが著しく、安全な電車走行を確保するため300mを改良する。 ・既設37kgレールを50kgNレールに重レール化し、軌道強化を図り、レールの側面にゴム製のパッキン材を装着させ、電車走行時の振動・騒音を軽減し、冬期間は圧雪防止できる構造に改良する。
		内訳			
		国補助金	46,553		
		市補助金	34,914		
		企業債	59,000		
		自己資金	86		
		計	140,553		

現況



工事区間（1）

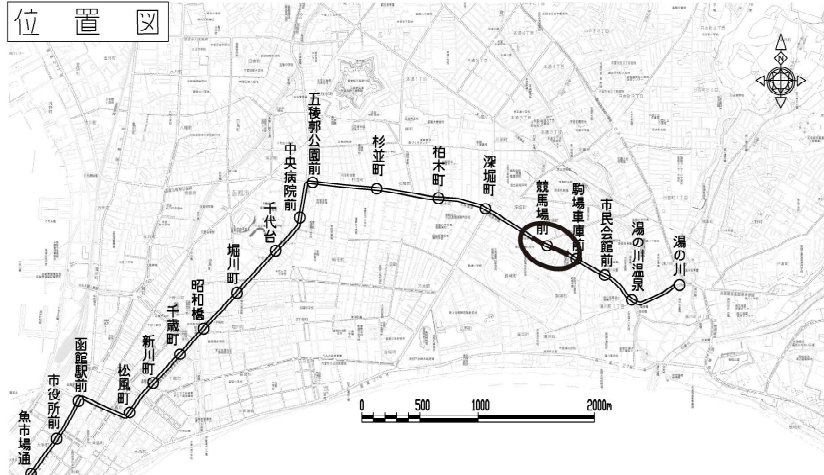
現況



工事区間（2）

深堀町～駒場車庫前間軌道改良工事

位置図



工事内容

軌道の老朽化により、磨耗・締結の弱体化から軌道狂いが著しいため、軌条の交換およびこれに伴う舗装工事を行うものである。

軌条 ～ 亘長 300m

37A → 50N (重軌条化)

コンクリート舗装 → ゴムパッキン挿入コンクリート舗装 (制振軌道)

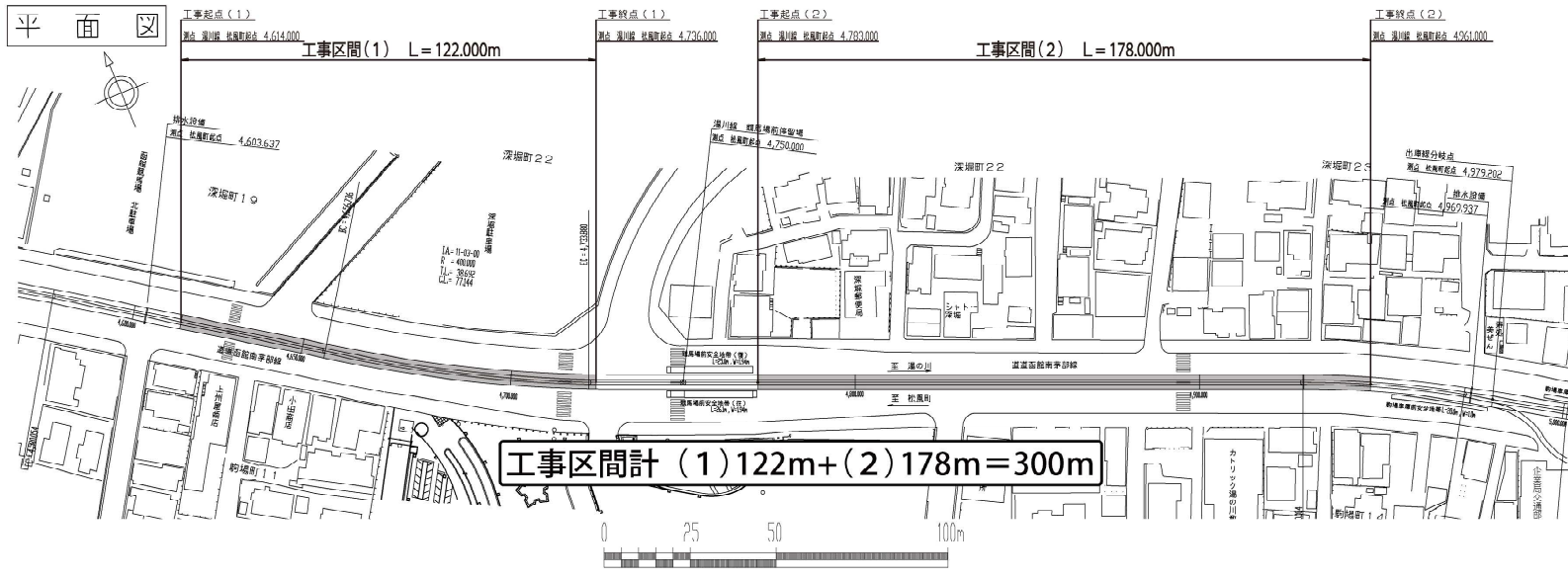
同箇所前施工年度

昭和61年度～昭和62年度 (施工後31～32年経過)

今後改良予定

軌道の老朽・劣化の著しい箇所を優先整備

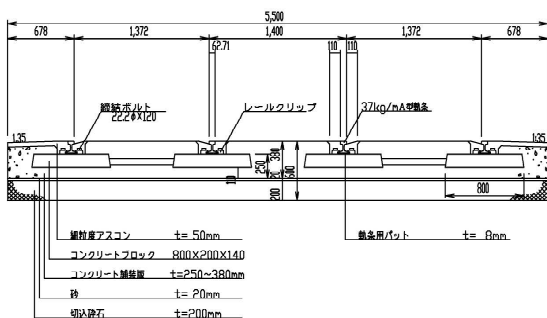
平面図



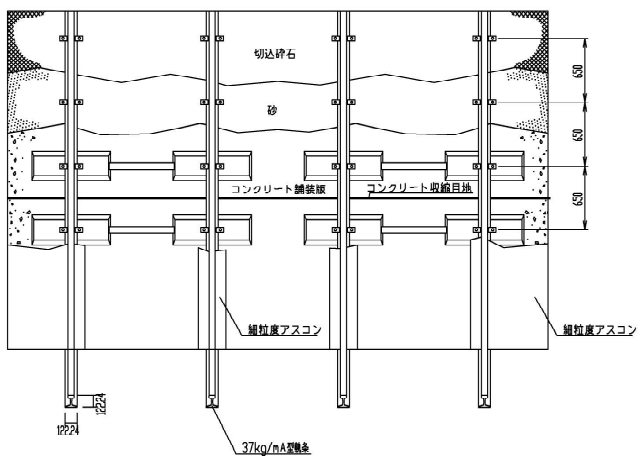
軌道構造図

<旧>

断面図

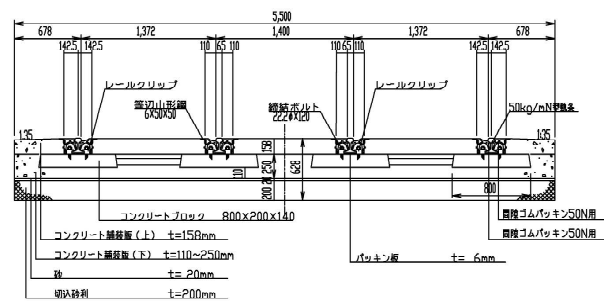


平面図

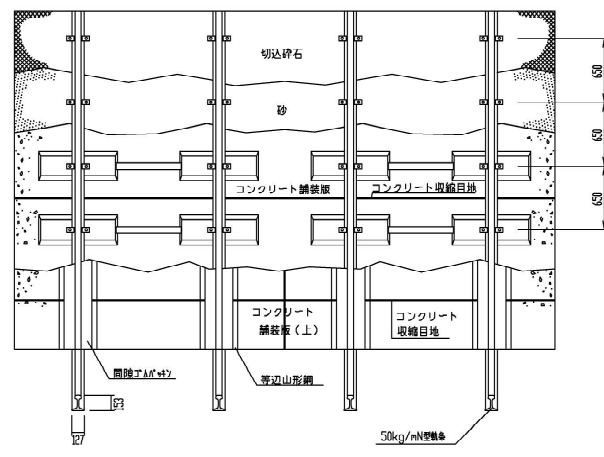


<新>

断面図



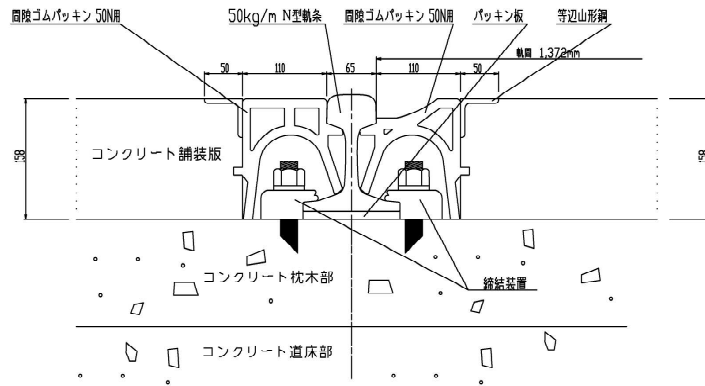
平面図



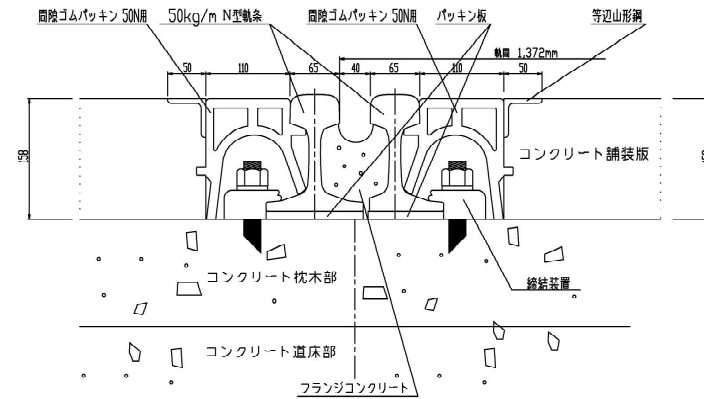
施行	平成30年度
工事名	深堀町~駒場車庫前間軌道改良工事
図面番号	第4号図
図面名	軌道構造図
縮尺/単位	1/30 / m
函	館市企業局

軌道舗装構造図

剛質一般部



剛質護輪軌条設置部



施行	平成30年度
工事名	深堀町～駒場車庫前間軌道改良工事
図面番号	第5号図
図面名	軌道舗装構造図
縮尺/単位	1/4 / m
函	館市企業局